

令和元年12月1日発行

倉吉市議会だより

白壁



9月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。



今号の内容

- 市政に対する一般質問 257
- 議案に対する質疑 859
- 常任委員会・特別委員会 10511
- 議案等の議決結果 12
- 新たな議会構成決まる・視察報告 13
- 12月定例会・編集後記 14



市役所第2庁舎外観



市役所第2庁舎を視察しました

10月15日に行われた定例議員懇談会の中で、第2庁舎の視察を行いました。

市役所第2庁舎は令和2年1月6日より業務を開始する予定です。



No. 11



【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市長や執行機関の長に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて報告や説明を求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。

倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨
くらし創生	大津 昌克	2019年度市民意識調査の結果について
		スポーツ施設の利用料について
		スポーツ推進について
	福谷 直美	◎ 教職員の働き方改革について
		◎ 保育園の統合の考え方について
		市道にかかる樹木の伐採について
		山陰新幹線の取組みについて
		県立美術館の進捗状況について
	大月 悦子	◎ 大学入試センター試験の倉吉市での実施について
		◎ 地域包括ケアシステムについて
		倉吉市の自主防災組織について
	丸田 克孝	中部地域公共交通再編実施計画及び中部地域公共交通網形成計画について
		打吹まつりについて
		◎ 中心市街地活性化事業について
		市営温水プールについて
藤井 隆弘	投票率アップの取組みについて	
	データで見るくらしの魅力について	
	◎ 安心安全(防災)について	
新政会	福井 康夫	利便度(買い物、公共交通)について
		住みよいまちづくり(地域包括ケア)について
	笠原 晶子	◎ くらよし未来づくりカフェについて
		地区公民館の管理運営について
		◎ 小・中学校適正配置について
	伊藤 正三	◎ 軟質プラスチックの分別収集について
		小学生金管バンド隊パレードについて
		◎ 避難所運営研修について
		児童福祉法改正にともなう対応について
		特定空家等除却略式代執行について
伊藤 正三	中心市街地活性化対策について	
	インフラ老朽化対策について	
	天神川防災行動計画について	
	◎ ふるさと納税について	

◎印のついた質問は、次頁以降詳細に記載しています。

会派名	議員名	発言通告要旨	
公明党・グリーン共同	山口 博敬	「美しい町倉吉」について	
		「スポーツ振興で倉吉を元気に」について	
		◎ JR倉吉線跡地整備について	
		「くらし未来づくりカフェ」での課題について	
	鳥飼 幹男	◎ 農業振興について	
		◎ 域学連携による地方創生について	
	鳥羽 昌明	高齢者等の居住支援について	
		2020年東京オリパラへ向けた訪日外国人客誘致への取組みについて	
		◎ 倉吉市の広報広聴の取組みについて	
	くらし創生	米田 勝彦	鳥取看護大学・鳥取短期大学学生と議会の意見交換会について
7月に行われた参議院議員選挙での期日前投票所の運営について			
期日前投票所での対応について			
◎ 介護に要するおむつ代について			
佐々木 敬敏		行政システムの統一化について	
		◎ 公務員の採用試験について	
		◎ 防災対策について	
日本共産党		佐藤 博英	農業振興について
			教育行政について
			公共交通について
	◎ 国民健康保険料の大幅引き上げについて		
	消費増税増税対応について		
◎ 教員の働き方改革について			
◎ 農業問題について			

一般質問通告一覧表より

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載しています。

QRコードで市議会ホームページにアクセス

今号より市議会だよりにQRコードを掲載しています。

スマートフォンやタブレットなどでQRコードを読み込むと、詳細が市議会ホームページでご覧いただけます。



市政の課題を洗い出し、 解決策を探る

令和元年9月第4回倉吉市議会定例会が、令和元年9月2日(月)から9月26日(木)まで開催され、一般会計補正予算などが審議されました。

会議録(質問、答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。

市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

※議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。
掲載は、質問順です(頁ごと、上から)。



おおつ まさかつ
大津 昌克
Otsu Masakatsu



■教職員の働き方改革について

問 小中学校教職員の働き方改革について、いつまでに何をどのように改善するのか

答 近年、学校教育における課題の複雑化・多様化、あるいは新たな研究の進展により、教職員が負担する業務が増加し、長時間労働となっている。まずは教職員の意識改革と、保護者や地域ボランティアなどの参画により、令和2年4月までには、毎月の時間外勤務時間の上限を45時間以内にするよう、教職員の働き方改革の実現に努めたい。



ふくたに なおみ
福谷 直美
Fukutani Naomi



■保育園の統合の考え方について ■大学入試センター試験の倉吉市での実施について

問 保育園の園児が減少する中、統合・改修の考えは

答 施設の老朽化、保育士不足など課題も多く、中部地震で財政的にも厳しい中、保育園配置に関する考え方をまとめた。統合だけではなく、施設の整備をできるだけ早く具体化していきたい。

問 大学入試センター試験の倉吉市での実施について

答 県内のセンター試験を利用する大学で構成される連絡協議会で、中部では受験会場のキャパシティがないなど問題があがった。市として、雪かきなど協力できることがあれば看護大学に働きかけていきたい。



■地域包括ケアシステムについて

問 包括ケアシステムの目標、住民へ理解を求めするための取り組みは

答 要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供することを目指している。言葉が先行しているので、コーディネートと共に地域に入り込んで、色々な機会を通じて中身を伝えたい。地域包括ケアシステムの周知については、自治体公民館連合会でも今年度の重点項目になっていたので、協議しながら啓発に努力したい。



おおつき えつこ
大月 悦子
Otsuki Etsuko



■中心市街地活性化事業について

問 中心市街地活性化事業の進捗状況は

答 倉吉駅周辺エリア、パークスクエアバス通り沿線エリア、打吹エリアにおいて、それぞれ民間事業者、各種団体が努力されている。円形劇場や打吹回廊の開設を機に活性化に向けた取り組みや、小川家の整備も進んでいる。

問 事業の成果を出すために駐車場の整備が必要ではないか

答 駐車場の確保は重要で、既存の駐車場の有効活用には検討が必要。市として何ができるのか考えたい。



まるた かつたか
丸田 克孝
Maruta Katsutaka



■安心安全(防災)について

問 平成30年12月定例会で取り上げた福庭東地区の浸水被害も、古川沢地区同様放置できない問題。対応策を問う

答 平成30年度に地区内の現況調査を行った。排水路の断面が下流に向かって小さくなっているところがあり、市道より敷地が低く、排水溝があふれ、浸水したと思われる。今後の対応については、新たな排水路を山側に整備し、流水が分散する内水対策事業を実施することを検討したい。県に対しても北田川の浚渫や草刈りなど環境整備を引き続き要望していく。



ふじい たかひろ
藤井 隆弘
Fujii Takahiro



■くらし未来づくりカフェについて
 ■小・中学校適正配置について

問 レンタサイクル、各種情報発信などについて、実現の可能性は

答 レンタサイクルの展開と、駅での情報発信について、改めて学生の意見も聞きながら、さらに工夫していきたい。

問 小・中学校の適正配置協議会の開催状況と主な意見、今後の開催について問う

答 現在、協議会を3回開催。小中一貫校や校区の変更、学校選択制などの案が出ている。なるべく遠くない将来に、地域に案を提示したい。協議会は今後2か月に1回程度開催していく。



ふくい やすお
福井 康夫
 Fukui Yasuo

新

■避難所運営研修について
 ■軟質プラスチックの分別収集について

問 避難所運営ゲーム（HUG）でシミュレーション型訓練を！

答 災害時の対応だけでなく、コミュニケーションづくりにも大変有効と考えられる。職員研修や自主防災組織、あるいは防災リーダーに対する研修にも今後取り入れていくように検討していきたい。

問 軟質プラスチックの分別収集について

答 収集する経費とリサイクル事業者が受け入れてくれるかなどを調査研究して、収集の可能性を判断していきたい。



じくはら しょうこ
竺原 晶子
 Jikuhara Shoko

新

■ふるさと納税について

問 ふるさと納税は貴重な財源であるが、市民や納税者に対し、使い道を示すべきである

答 ふるさと納税の使い道としては、人づくり、仕事づくり、まちづくりの事業に使わせてもらっている。使い道がはつきり見えるよう、今年度初めてクラウドファンディング型の取り組みを行い、道の駅犬狹の活性化を目的とした「ドッグランプロジェクト」への寄附を募集している。多くの支援を期待している。



いとう しょうぞう
伊藤 正三
 Ito Shozo

新



■JR倉吉線跡地整備について ■農業振興について

問 旧倉吉線跡地の整備について、県との協議の現在の状況は

答 県からは整備の必要性が低く事業化は考えていないという回答があった。部分的にでも道路整備できる場所がないか県も含めてよく検討したい。

問 倉吉の産物の地理的表示保護制度(GI)への登録に向けて積極的に挑戦すべき

答 この登録は農林水産物や食品の生産加工団体が申請して登録するもの。JA鳥取中央と各生産部は、現在、登録申請を考えていないということ。再度、登録にどう向かうかJAとも相談したい。

公

やまくち ひろたか
山口 博敬
Yamaguchi Hiroataka



■域学連携による地方創生について

問 域学連携による「関係人口」の創出。学生を地域に呼び込むための中間支援機能の構築について

答 市内には、歴史と伝統のある伝承行事が実施されているが、担い手確保ができない現状がある。行事に学生が参加することで、文化や歴史を学ぶことができるし、地域の方と触れ合うことで、新しい力になり、活性化につながる。大学に地域と学生をつなぐグローバルセンターが設置されているので、大学とも相談して支援していきたい。

公

とりかい みきお
鳥飼 幹男
Torikai Mikio



■倉吉市の広報広聴の取組みについて

問 市民意識調査に寄せられたご意見に対して回答すべきでは。電子相談含め、市民の声には迅速・丁寧な対応を

答 いただいたご意見については可能な限り、かつ速やかに回答することが重要と考える。今後ホームページで公表するなど対応していきたい。検討中や実施予定としたものについては、その後の結果の更新や、回答の際は要旨だけでなく市民へ配慮した丁寧な文面とすることも大切である。第2庁舎には総合窓口も設置する予定。あわせて「市政ポスト」の設置も検討する。

公

とば まさあき
鳥羽 昌明
Toba Masaaki



■介護に要するおむつ代について
■公務員の採用試験について

問 要支援の方にもおむつ代の助成を

答 当市では要介護4、5の、在宅で住民税非課税の方に助成している。現在、おむつ代助成は介護保険の対象ではなく、各自自治体が独自で行っている。助成拡大は難しい。

問 公務員採用試験の試験科目は現状のままでしょうか

答 公務員志望者は全国的に減少傾向。受験しやすくするための見直しは必要。教養試験に替えて、民間企業が行っている検査の導入も検討し、どういった試験が適当なのか引き続き勉強したい。



よねだ かつひこ
米田 勝彦
Yoneda Katsuhiko

創

■防災対策について

問 古川沢地区の単県小規模急傾斜地崩壊対策事業は自己負担が2割であるが、市としての考え方を問う

答 この地区には土砂災害特別警戒区域に指定されている区域がある。この区域は、単県小規模急傾斜地崩壊対策事業の対象。2割の受益者負担は、近隣の他町と比較しても負担率が高いので、あり方について検討したい。



ささき たかとし
佐々木 敬敏
Sasaki Takatoshi

創

■国民健康保険料の大幅引き上げについて

問 国民健康保険料が、令和2年度から一人あたり1万6600円も上がる。緩和、軽減をすべきだ

答 倉吉国民健康保険運営協議会の答申を尊重していきたい。制度の継続性が必要なので、16%引き上げもやむを得ない。緩和措置をとるのは難しい。賦課方式や保険料率については検討していきたい。最終的な案を作り、12月議会に条例改正を提案したい。



さとう ひろひで
佐藤 博英
Sato Hirohide

日





【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。

※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。

議員名	通 告	担当部局
米田 勝彦	公園施設長寿命化対策支援事業	建設部
福井 康夫	再生可能エネルギー計画策定事業	企画産業部
	緑の産業活力創生プロジェクト事業	企画産業部
	第2庁舎管理	総務部
	企業誘致	企画産業部
	公園施設長寿命化対策支援事業	建設部
	倉吉市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について	水道局
福谷 直美	防犯活動	総務部
	庁舎管理	総務部
	第2庁舎管理	総務部
	公園管理事業	建設部
	体育施設維持管理	教育委員会
伊藤 正三	防災行政無線維持管理事業	総務部
	生活保護	健康福祉部
	元気はつらつプラン	教育委員会
	都市公園管理	建設部
山口 博敬	倉吉市都市公園条例の一部改正について	建設部
	財政指標について(経常費率他)	総務部
	非常備消防	総務部
	総合防災訓練	総務部
	がん検診	健康福祉部
	史跡大御堂廃寺跡整備事業	教育委員会
	都市公園管理	建設部
大月 悦子	行政改革懇談会	総務部
	文書広報	総務部
	地域支え愛活動支援事業	健康福祉部
	障がい者等交通費助成	健康福祉部
	婦人保護	健康福祉部
	がん検診	健康福祉部
	いきいき長寿社会推進協議会費	健康福祉部



【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では質疑回数は1議題5回までとなっています。

議員名	通告	担当部局
大津 昌克	 企画政策推進	企画産業部
	 観光施設維持管理事業	企画産業部
	 中学校運営(総務)	教育委員会
藤井 隆弘	 地域支え愛活動支援事業	健康福祉部
	 地域未来塾事業	教育委員会
	 運動部活動外部指導者活用	教育委員会
	 人間ドック	健康福祉部
	 脳ドック	健康福祉部
	 特定健康診査等事業	健康福祉部
	 いきいき長寿社会推進協議会費	健康福祉部
	 包括的支援事業費	健康福祉部
佐藤 博英	 小学校運営(総務)	教育委員会
	 支所管理	総務部
	 自衛官募集	総務部
	 市営住宅維持管理	建設部
	 企業誘致	企画産業部
笠原 晶子	 倉吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	総務部
	 観光施設維持管理事業	企画産業部
鳥羽 昌明	 企画政策推進	企画産業部
	 土地改良	企画産業部
丸田 克孝	 中心市街地活性化推進事業	企画産業部
	 元気の出る地域づくり支援	企画産業部
	 文化芸術活動振興	企画産業部
	 倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業	企画産業部
	 消防施設整備	総務部

-  …認定第1号 平成30年度倉吉市一般会計歳入歳出決算の認定について
-  …認定第2号 平成30年度倉吉市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
-  …認定第3号 平成30年度倉吉市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
-  …議案第50号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第3号)
-  …議案第53号 倉吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
-  …議案第59号 倉吉市都市公園条例の一部改正について
-  …議案第60号 倉吉市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について





【常任委員会・特別委員会】

【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

教育福祉常任委員会

委員	佐藤 博英 委員長 丸田 克孝 副委員長 笠原 晶子 委員 鳥羽 昌明 委員 福井 康夫 委員
所管	健康福祉部、教育委員会

不登校出現率 6・15%

教育福祉常任委員会には4件の認定案件(決算)と、1件の補正予算、3件の条例案件が付託され、委員会審査が行われました。

教育関係では、不登校の状況について、出現率が6・15%と全国や県よりもかなり高いことが報告されました。また、テニスコート4面について、砂入り人工芝に改修すること、市営野球場のスコアボードについての改修は令和元年度中に工事完了を計画しているとの報告がありました。

3歳以上児副食費 無償化へ努力を

福祉関係では、議案第56号 子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、いわゆる保育の無償化に伴う関係条例の制定について多くの意見が出され、附帯意見を付して可決されました。附帯意見の内容は「幼児教育・保育の無償化においては、国に対し、あらゆる機会を通じて、その経費全額の負担を要望し、併せて、県と協力して、3歳以上児の副食費は、低所得世帯・多子世帯に限らず、全ての世帯が無償化となるよう、努力されたい」という内容で全会一致で可決されました。

認定案件は全て認定され、補正予算、条例案件も全て原案のとおり可決されました。

(委員長 佐藤博英)

付託案件を慎重に審議

総務建設常任委員会に付託された認定11件、議案12件を慎重に審議しました。

認定第1号 平成30年度倉吉市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、当委員会の所管する部分と、認定第5号から認定第15号はいずれも認定すべきと決定しました。

議案第49号 平成30年度倉吉市水道事業会計利益の処分及び決算の認定についても認定しました。

議案第50号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算

(第3号)のうち、所管する部分については原案どおり可決されました。

議案第51号 令和元年度倉吉市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)、議案第52号 令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第2号)については、いずれも原案のとおり可決しました。

議案第53号、54号、55号と議案第59号、60号、61号の条例案件については原案どおり可決されました。

議案第62号の第2庁舎整備工事の工事請負契約の一部変更については原案どおり可決しました。

議案第63号の功労表彰についても同意しました。

(委員長 佐々木敬敏)

総務建設常任委員会

委員	佐々木 敬敏 委員長 藤井 隆弘 副委員長 大津 昌克 委員 坂井 徹 委員 鳥飼 幹男 委員
所管	総務部、建設部、会計課、水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

【特別委員会とは?】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

企画産業常任委員会

委員	福谷 直美 委員長
	米田 勝彦 副委員長
	伊藤 正三 委員
	大月 悦子 委員
	山口 博敬 委員
所管	企画産業部、農業委員会

総合交通対策費については、バス事業者への補助金交付の今後について質問があり、「事業者は国へ業務改善計画を毎年提出しており、市としてもヒアリングを行っているが、さらに今は改善策について具体策を求めたい。Maas*(モビリティ・アズ・ア・サービス) Mobility as a Service 移動のサービス化。複数の交通手段を乗り継いで移動する際に、マイカー

Maas実現についても研究を

企画産業常任委員会には認定2件と議案1件が付託され、委員会審査が行われました。

「ふるさと納税をさらに増やすための戦略は」という質問に対し「いかにPRするか節目などを考え企画力をつけたい」、「行政だけでは頭打ちになると思う。民間の知恵を活用することを検討してはどうか」に対しては「平成30年度は寄附金、件数とも過去最高の納税があった。民間との連携については研究してみる」など、議論が交わされました。

審議の結果、付託された認定、議案は全て全会一致で認定、可決されました。

(委員長 福谷直美)

以外の移動手段全体を一つのサービスとして利用・提供する考え方もさまざまな移動手段を使った最適ルートの検索・予約・支払いが一つのスマートフォンアプリで完結するの実現を目指す、といったことも研究していきたい」との答弁がありました。

ふるさと納税へ民間の知恵活用を

「ふるさと納税をさらに増やすための戦略は」という質問に対し「いかにPRするか節目などを考え企画力をつけたい」、「行政だけでは頭打ちになると思う。民間の知恵を活用することを検討してはどうか」に対しては「平成30年度は寄附金、件数とも過去最高の納税があった。民間との連携については研究してみる」など、議論が交わされました。

県立美術館建設推進調査特別委員会

委員	福井 康夫 委員長、福谷 直美 副委員長、
	大津 昌克 委員、大月 悦子 委員、坂井 徹 委員、
	佐藤 博英 委員、鳥羽 昌明 委員、米田 勝彦 委員

県立美術館整備運営事業の計画が具体化されつつあります。

設計期間	事業契約日～令和3年9月30日
建設期間	令和3年10月1日～令和6年3月31日
完成引き渡し	令和6年3月31日

今回の委員会をもって最終報告とし、提言をまとめました。①県立美術館本体の整備について県民の意見を反映し、更に魅力あるものとなるよう今後とも県との調整を図ること。②「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」との連携をさらに押し進めること。③県立美術館整備推進室の中部地区への早期設置について。

以上が、本委員会として検討する中で得た成果です。執行当局はこれらことに留意の上、行政に当たられたく提言しました。

(委員長 福井康夫)

中心市街地活性化調査特別委員会

委員	鳥飼 幹男 委員長、竺原 晶子 副委員長、
	伊藤 正三 委員、佐々木 敬敏 委員、
	藤井 隆弘 委員、丸田 克孝 委員、山口 博敬 委員

今回の委員会をもって最終報告とし、提言をまとめました。①復興の総仕上げを行い、認定中心市街地活性化基本計画掲載事業の実施と、賑わい創出のための具体的エリアマネジメントの実施を図られたい。②案内標示等での適切な誘導によって、観光施設間の回遊性を高め、観光客の滞在時間の延長と、観光消費の増加を図られたい。③市役所第2庁舎の稼働に向けて、全ての来庁者が安心・安全に利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた周辺整備を進められたい。

以上が、調査・検討する中で得た成果です。執行当局はこれらことに留意の上、官民連携した中心市街地のにぎわい創出に向け、行政に当たられたく提言しました。

(委員長 鳥飼幹男)



【議案等の議決結果】

—— 一般会計補正予算など 3 4 議案を審議 ——



審議の結果

議案番号	件名	議決結果
報告 第 5号	平成30年度倉吉市健全化判断比率及び平成30年度倉吉市資金不足比率について	報告受理
報告 第 6号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	報告受理
認定 第 1号	平成30年度倉吉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 2号	平成30年度倉吉市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 3号	平成30年度倉吉市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 4号	平成30年度倉吉市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 5号	平成30年度倉吉市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 6号	平成30年度倉吉市温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 7号	平成30年度倉吉市住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 8号	平成30年度倉吉市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 9号	平成30年度倉吉市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 10号	平成30年度倉吉市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 11号	平成30年度倉吉市集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 12号	平成30年度倉吉市高城財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 13号	平成30年度倉吉市小鴨財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 14号	平成30年度倉吉市北谷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 15号	平成30年度倉吉市上北条財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案 第 49号	平成30年度倉吉市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案 第 50号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案 第 51号	令和元年度倉吉市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案 第 52号	令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案 第 53号	倉吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 54号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 55号	倉吉市印鑑条例の一部改正について	原案可決
議案 第 56号	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 57号	倉吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案 第 58号	倉吉市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案 第 59号	倉吉市都市公園条例の一部改正について	原案可決
議案 第 60号	倉吉市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案 第 61号	倉吉市下水道使用料条例の制定について	原案可決
議案 第 62号	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(倉吉市役所第2庁舎整備工事)	原案可決
議案 第 63号	功労表彰について	同意
議案 第 64号	教育委員会委員の任命について	同意
議案 第 65号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意

新たな議会構成決まる

正副議長より



伊藤正三
議長

議会本来の役割とは、地域の課題をめぐってさまざまな立場や見解を表明し、意見を交わすことで、一定の結論に集約することだと思います。市民の代表者である議員が市民の前で討論をし、政策として決議する。そんな議会をつくりたいと考えています。



福井康夫
副議長

市議会の役割と責任が増す中、地方自治の充実と議会の魅力の向上を目指します。また近年、大規模自然災害が頻発していますが、市民の安心・安全を第一に令和の時代にふさわしい倉吉のまちづくりに全力を傾けていきたいと思っています。



■令和元年9月第4回倉吉市議会定例会において、正・副議長の投票による選挙を行い、議長に伊藤正三議員、副議長に福井康夫議員が当選しました。

■議会運営委員会の構成は次の通りです。(◎委員長、○は副委員長。敬称略)

- ◎藤井 隆弘
- 大津 昌克
- 坂井 徹
- 笠原 晶子
- 福谷 直美
- 山口 博敬

【会派名】<く>くらし
新：新政会
公：公明党・グリーン共同
創：くらし創生
日：日本共産党



会派・個人 視察報告【令和元年8月～10月分】



期間	7月31日(水)～8月1日(木)	旅費総額	31,750円
視察先・目的	兵庫県伊丹市 伊丹市役所	安全・安心見守りネットワーク事業構築について	
視察者(会派)	新 坂井徹	1人	
期間	10月15日(火)～16日(水)	旅費総額	22,100円
視察先・目的	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所	令和元年度トップマネジメントセミナー～新時代における自治体経営～	
視察者(会派)	<く> 大津昌克	1人	
期間	10月28日(月)～29日(火)	旅費総額	57,060円
視察先・目的	東京都豊島区 アットビジネスセンター池袋駅前別館	地方議会議員セミナー「基礎から学ぶ質問力」 「公共施設を取り巻く環境と発想の転換」	
視察者(会派)	公 鳥羽昌明	1人	
期間	10月29日(火)～31日(木)	旅費総額	240,940円
視察先・目的	新潟県長岡市 長岡市役所 新潟県佐渡市 佐渡市役所 新潟県見附市 見附市役所	RPA導入による行政のICTの推進について 介護予防太鼓教室について スマートウェルネスみつけについて	
視察者(会派)	創 米田勝彦、佐々木敬敏	2人	
期間	10月30日(水)～31日(木)	旅費総額	39,600円
視察先・目的	高知県高知市 高知ちばさんセンター	第14回全国市議会議長会研究フォーラム In 高知	
視察者(会派)	新 福井康夫	1人	
期間	10月30日(水)～31日(木)	旅費総額	95,100円
視察先・目的	高知県高知市 高知ちばさんセンター	第14回全国市議会議長会研究フォーラム In 高知	
視察者(会派)	<く> 福谷直美、藤井隆弘、大月悦子、丸田克孝	4人	



令和元年 12月 第5回 倉吉市議会定例会

【会 期】12月2日(月)～12月18日(水)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
12月2日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
3日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
4日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
5日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
6日	金			予 備 日	
7日	土			休 会	
8日	日			休 会	
9日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑 ～委員会付託	
10日	火			予 備 日	
11日	水	委員会		教育福祉常任委員会(予定)	
12日	木	委員会		総務建設常任委員会(予定)	
13日	金	委員会		企画産業常任委員会(予定)	(録画のみ)
14日	土			休 会	
15日	日			休 会	
16日	月			予 備 日	
17日	火			議事整理日	
18日	水	本会議	午前10時	委員長報告 ～付議議案の討論・採決	

 …ケーブルテレビ放送あり  …手話通訳あり
※常任委員会は録画放送のみ。
録画放送は開催日の午後7時から。

※倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。最新の会議情報、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録検索システムなどを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集委員会委員が新しくなりました

委員長	佐藤 博英
副委員長	笠原 晶子
委員	鳥羽 昌明 藤井 隆弘 米田 勝彦



左から、鳥羽委員、笠原副委員長、佐藤委員長、藤井委員、米田委員

編集後記
議会だより「白壁」の編集委員が決まりました。さて、日本には市区町村が1700以上ありますが、住民政策(サービス)の中心はそれぞれ違います。住民に最も近い位置にあって、住民の声・思い・願いを直接行政に届け、実現していくのが地方議員の仕事であり、使命だと思えます。そうした目で今の倉吉の議員活動を「白壁」を通して改めて評価していただければと思います。ご意見をどんどんお寄せください。(編集委員 佐藤博英)



議会だよりの表紙写真を募集します

あなたの写真で表紙を飾りませんか。
たくさんのご応募、お待ちしております。

【募集する写真】倉吉市内で撮影された季節が感じられる写真で、倉吉市を紹介できる作品。四季折々の風景や祭り、地域行事の写真など。

【応募資格】倉吉市在住、在勤または在学の方
【選考方法】議会だより編集委員会で審査を行い、選出します。応募がない場合や採用写真がない場合は、委員会で撮影した写真を使用します。また、過去に応募いただき落選となった作品も、応募から概ね1年間は選考対象となる場合があります。

【応募方法】撮影者の住所、氏名、ニックネーム(希望の場合)、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送、または電子メールで議会事務局へお送りください。※郵送の場合は、応募写真をCDまたはDVDなどに保存して郵送してください。電子メールの場合は受信の都合上、1～3MBをお願いします。

作品は、随時募集します。

【送付先】

〒682-8611 倉吉市葵町722
倉吉市議会事務局
電子メール：gikai@city.kurayoshi.lg.jp

【注意事項】

- ・被写体が人物または個人の所有物である場合は、応募に関して必ず被写体本人(未成年者の場合は保護者)、または所有者の承諾を得てください。※応募写真に関する著作権、肖像権等に関する責任はすべて応募者に帰属し、倉吉市議会では一切負わないものとします。
- ・応募に関する費用は応募者の負担とします。
- ・応募写真は、倉吉市議会が無償で使用することに許諾されたものとみなします。
- ・応募写真の著作権は撮影者本人に帰属しますが、応募から1年は、他媒体での発表をお控えください。
- ・必要によりトリミング処理などを行うことがあります。
- ・記念品などはありませんのでご了承ください。
- ・応募写真の返却は原則行いません。

